
QA8-26 食事から受ける放射線量の実態は、どの程度ですか。

A

- ① 平成 28 年 2 月から 3 月に、全国 15 地域で、実際に流通する食品を購入して、放射性セシウムの測定を行い、食品中の放射性セシウムから受ける放射線量を測定しました。
- ② 食品中の放射性セシウムから、人が 1 年間に受ける放射線量は、0.0006～0.0011 ミリシーベルト (mSv) と推定され、現行基準値の設定根拠である年間上限線量 1 ミリシーベルト (mSv) の 1% であり、極めて小さいことが確かめられました。

■ マーケットバスケット調査：

種々の化学物質の 1 日摂取量を推定するための調査方法の一つです。

出典：厚生労働省ウェブサイト

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/market_basket.html

・マーケットバスケット調査・陰膳調査 結果

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

(ページの中程に平成 24 年 2 月からの調査結果を掲載しています。)

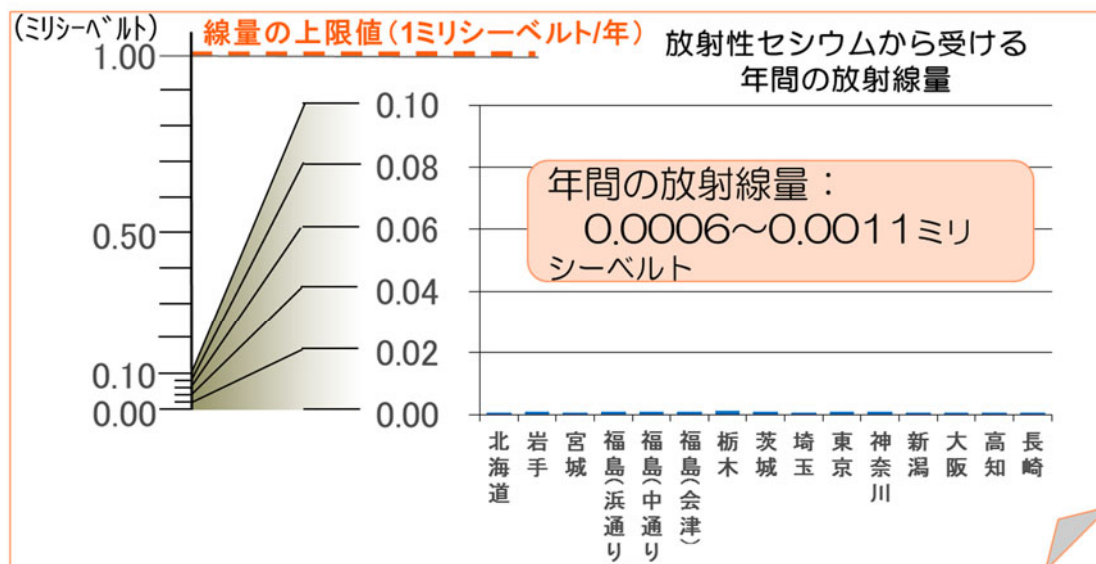
- ③ 今後も継続的に同様の調査を行い、食品の安全性の検証に努めていきます。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第 8 章 77 ページ「流通食品での調査 (マーケットバスケット調査)」

(解説)

マーケットバスケット調査（平成 27 年 2・3 月調査）結果を基に、食品から人が 1 年間に受ける放射線量を推計すると、下記の図のようになります。



出典：厚生労働省ウェブサイト「食品中の放射性物質への対応」より作成

出典の公開日：平成 28 年 12 月 16 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日